

報道関係各位

2015年3月18日

**バヌアツにて、医療と安全のアシスタンスサービスを展開：  
インターナショナル SOS が緊急事態対応チームを派遣**



医療とトラベルセキュリティアシスタンスサービスを全世界の会員企業に提供するインターナショナル SOS は、大型サイクロン「パム」発生後、現地に滞在する会員企業社員を支援するためバヌアツに緊急事態対応チームを派遣しました。

医療、セキュリティ、およびロジスティックスの専門家で構成された緊急事態対応チームは、駐在員や海外出張者を対象とした医療と安全状況、そして避難方法を評価するために、3月16日にバヌアツ入りしました。首都ポートビラ内の病院を始め現地の医療インフラへの被害を確認後、医療支援の評価にも従事しています。

また、今回の緊急事態に対応して、クライアントリエゾンチームも特設しました。バヌアツだけでなく、フィジー、ソロモン諸島、ツバルなど周辺諸国に駐在員や海外出張者を派遣している会員企業に先行的に支援を提供することを目的としています。

オーストラレーシア地区担当のリージョナルマネージングディレクターであるマイケル・ガードナーは、次のように語っています。

『私たちは、会員企業が駐在員や海外出張者の安全を配慮し安心して事業展開を繰り広げるべく、24時間365日体制で情報や支援を提供しています。世界中からバヌアツに派遣されている駐在員や海外出張者は約400人で、多くはバヌアツで人道支援を行っています。そのため、私たちが支援を提供する上では、各個人に対する緊急医療対応だけでなく、サイクロンによる現地の作業への打撃についても考慮する必要があります。現状としては安全な飲料水や食料が不足しており、



下痢、麻疹、マラリア、デング熱などの疾患リスクも上がっています。バヌアツへの渡航を控え、また、既にバヌアツに滞在する方でも、滞在目的が必須でなければ帰国するようにしてください。』

現地の緊急事態対応チームのメンバーであるセキュリティディレクターのロジャー・クックは、次のように報告しています。

『首都ポートビラでは土曜日からは現地当局者による外出禁止令が出されています。サイクロン被害により支援物資の支給が著しく遅れている地域の状況が、何よりもの懸念事項です。』

インターナショナル SOS は、支援対策の調整、そして医療搬送およびバヌアツからの緊急退去に備え、シドニーのアシスタンスセンターを拠点とした危機管理チームも設置しています。また今回の緊急支援に加え、太平洋諸島におけるサイクロンの軌道と気象事象を観測し続けています。

#### <会社概要>

社名： インターナショナル SOS ジャパン株式会社  
代表者名： 代表取締役社長 関 俊一  
企業設立： 1996 年  
所在地： 〒107-0052 東京都港区赤坂 4-2-6 住友不動産新赤坂ビル 11 階  
URL： <http://www.internationalsos.co.jp/>

#### インターナショナル SOS について ([www.internationalsos.co.jp](http://www.internationalsos.co.jp))

インターナショナル SOS は、世界最大手の医療とトラベルセキュリティアシスタンスを提供する企業です。

世界 92 カ国 850 カ所にわたる拠点から、1,400 名の医師及び 200 名のセキュリティ・スペシャリストを含む 11,000 名以上の従業員が日夜アシスタンスに従事し、グローバルに活躍する顧客企業を支援しています。そのプロフェッショナルな専門知識は他の追随を許さず、広範囲なリスクに対する専門性の高い予防プログラム、そして重病、事故、社会不安時における緊急支援サービスを他社に先駆けて提供してきました。顧客企業が世界中どこでも『従業員の健康と安全』を実現いただけるよう、全力を挙げてサポートを続けて参ります。